

平成27年8月20日（木）  
愛知県健康福祉部障害福祉課  
障害者芸術・文化祭グループ  
担当 石黒、佐藤  
内線 3241・3526  
電話 052-954-6697（ダイヤルイン）

## 第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会の 「愛称」最優秀作品応募者への表彰式を行います

5月11日（月）から6月30日（火）まで、第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会の「愛称」を募集したところ、全国各地から1,243点の応募があり、最優秀作品として選定した作品を基に、7月21日（火）に開催した第16回障害者芸術・文化祭実行委員会第2回総会において、**大会愛称を『ゲイジツのチカラ・あいち』に決定しました。**

このたび、愛称の最優秀作品応募者に対し、下記のとおり表彰式を行います。

なお、一色うなぎ漁業協同組合、三河一色えびせんべい組合、組合法人西尾茶協同組合の御協力をいただき、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」、「西尾の抹茶」を副賞として贈呈します。

### 1 日 時

平成27年8月24日（月）  
午後2時45分～午後3時

### 2 場 所

愛知県公館

### 3 内 容

- 大村秀章愛知県知事より最優秀作品応募者への賞状及び副賞の授与
- 記念撮影

### 4 受賞者

#### 最優秀作品 『ゲイジツのチカラ』

- 氏名及び年齢：平松 悠（ひらまつ はるか）様（36歳）
- 住 所：愛知県岩倉市
- 愛称の説明：芸術には、作る人・見る人、そして、障害のある人・ない人の心を変える大きな力がある。そういう大会になって欲しいという願いを込めた。

【副賞】1万円と「一色産うなぎ」

## <その他>

優秀作品（2点）の応募者にも、別途、賞状及び副賞をお贈りします。

### ・『心のかたち』

○氏名及び年齢：石井 久美子（いしい くみこ）様（58歳）

○住 所：岡山県岡山市

○愛称の説明：個々の心をもって形となった作品。

### ・『芸術全開 障害者 あいちの心』

○氏名及び年齢：小松 貞徳（こまつ さだのり）様（84歳）

○住 所：大分県杵築市

○愛称の説明：「芸術全開」には、2つの意味を込めた。一つは、芸術の取り組みというのは、作者が一つの哲学を持って創作し、その作品を見る側に伝えることができ、見る側は作者の心を感じ取る、その流れを全開とした。二つ目は、全国から参加してほしいとの思いから、全開とした。

【副賞】 5千円とそれぞれ「三河一色えびせんべい」と「西尾の抹茶」

## 参考1 『第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会』について

### (1)開催目的

障害のある方の全国的な交流を通じた社会参加と、障害に対する理解の更なる促進を図るため、平成28年夏から開催する現代アートの国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2016」に引き続く「第31回国民文化祭・あいち2016」の開催と併せて「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」を開催します。



大会マスコットキャラクター  
からくりロボットの“ブンゾー”

### (2)事業内容

- 芸術・文化祭
  - ア 美術・文芸作品
  - イ 舞台芸術
- ふれあい交流
  - ア 授産製品展示販売、補助犬の紹介、手話教室、障害者スポーツの紹介、福祉機器の紹介等のブース
  - イ 講演会・シンポジウムの開催、バリアフリー映画の上映等

### (3)開催期間

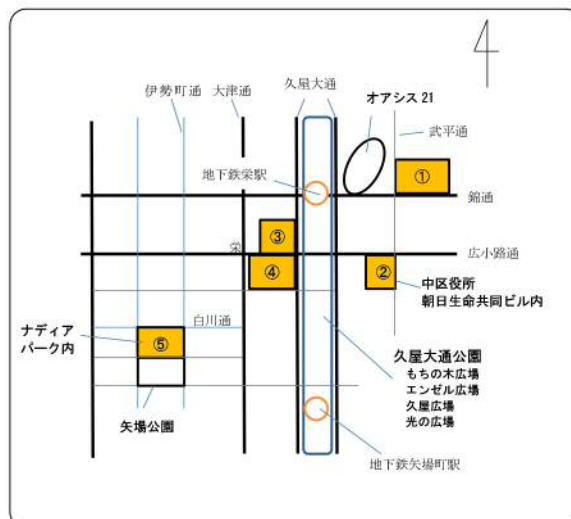
平成28年12月9日（金）～11日（日）

※美術・文芸作品展は12月3日（土）～11日（日）

### (4)事業計画

開催日	平成28年12月								
	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	8日 (木)	9日 (金)	10日 (土)	11日 (日)
事業内容	愛知芸術文化センター ※5日休館日（調整中）						愛知芸術文化センター①		
美術・ 文芸作品展				名古屋市民ギャラリー 一栄（調整中）		名古屋市民ギャラリー栄（調整中）②(株) 三井住友銀行SMBCパーク 栄③ (株)名古屋三越栄店（調整中）④ 等			
舞台芸術							青少年文化センター⑤		
							栄周辺の屋内・屋外スペース その他調整中		

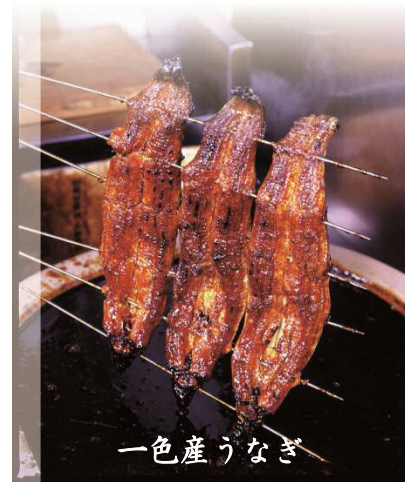
※ふれあい交流は、美術・文芸作品展展示会場及び舞台芸術会場の周辺で実施。



## 参考2 副賞の愛知の特産品について

### ○ 最優秀賞「一色産うなぎ」

西尾市一色町は全国でも有数のうなぎ生産地。  
清流矢作川を水源とし、限りなく天然に近い環境のもとで  
育てられた「一色産うなぎ」は、皮も柔らかく、良質な脂  
がのっています。



### ○ 優秀賞「三河一色えびせんべい」

100年以上の歴史を持つ三河一色えびせんべい。  
西尾市一色町はえびせんべい発祥の地といわれ、明治時代  
半ばにアカシエビを主原料にして作られたのが始まりです。  
各生産者は趣向を凝らし、独自の味わいを競っています。



### ○ 優秀賞「西尾の抹茶」

文永（ぶんえい）8年（1271）創建の実相寺境内に茶種を  
まいたことが西尾のお茶の起源とされています。  
現在も日本有数の抹茶の生産地として知られています。  
西尾の抹茶は濃い緑、上品な香り、穏やかなうまみと  
コクが特徴です。

